

## 平成 26 年度 学校経営計画及び学校評価

## 1 めざす学校像

地域が誇る規律と活気のある学校をめざす。

- 1 「知・徳・体」バランスのとれた生徒の育成をめざし、「かしこさ・やさしさ・つよさ」を兼ね備えた生徒を育てる。
- 2 将来社会に貢献しつつ、グローバル化の進む 21 世紀をしなやかに生き抜く生徒を育てる。
- 3 夢・志を持って、常にチャレンジする生徒を育てる。

## 2 中期的目標

## 1 進路実現につながる確かな学力の育成

(1) コースのさらなる充実・特色化・・・平成 23 年度に立ち上げた「英語コース」「理数コース」「学芸コース」の教育内容の一層の充実を図る。

ア 「英語専門コース」については、過去 3 年間のイングリッシュフロンティアハイスクール指定校としての取組みを継続・充実させることにより、特色を明確に打ち出す。 ※英語検定の合格率について、英検 3 級 85%、英検準 2 級 50%をめざす (H28)。

イ 「理数専門コース」については、「校長マネジメント中期計画推進事業推進校」として、「実験・実習」を充実させ「考察」「発表」へとつなげる取組みを進めるとともに、地域（小中学校・大学等）との連携を推進することにより特色を打ち出す。 ※理系の進学実績の向上をめざす。

ウ 「学芸コース」については、生徒の興味・関心に応じたさまざまな「科目」設定をすることにより、個々の進路実現を図る。

(2) 「わかる授業」をめざした授業改善及び授業力の向上に取り組む。

ア 「交野 21 委員会」において、授業アンケートの効果的活用の研究を進めるとともに、研究授業・公開授業の校内システム化に取り組み、授業アンケートの満足度 75%とする (H28)。

イ 「生徒が主体となる授業」及び「ICT を効果的に活用した授業」等を推進する。

(3) 学習意欲を喚起するために、様々な学習機会を設定し、その内容の充実を図る。

ア 学習合宿、進学講習（早朝、放課後、土曜講習）、自習室の活用、各種資格取得、海外ホームステイ体験、英語キャンプ、サイエンスキャンプ、国際交流等、自ら選択し参加できるメニューを充実させる。

※生徒の希望する進路達成率を 75%とする (H28)。 66% (H25)

※センター・一般入試までチャレンジする生徒を 130 人とする (H28)。 一般入試受験者（センター含む）受験者 107 人 (H25)

## 2 「規律正しい交高生」の堅持と個々の生徒への相談支援体制の確立

(1) 「基本的生活習慣の定着」及び「規範意識の醸成」「マナーの向上」に努めることで、自らの行動を律することのできる生徒を育てる。

ア 毎朝の校門立ち番指導により、遅刻指導及びあいさつ指導を実施する。きめ細かい丁寧な指導をめざす。遅刻者数 毎年 10 人/日未満とする。

イ 清掃の徹底、地域と連携したクリーンキャンペーン等を通じ、美化意識の向上に取り組む。

ウ 生徒・保護者向け学校教育自己診断の生徒指導方針に対する肯定率を 90%以上とする (H28)。

(2) 保護者との連携を密にし、校内の教育相談体制を充実させ、支援の必要な生徒、課題のある生徒を適切に支援できる体制を確立する。

ア 教職員間の情報共有等の連携を強化するとともに、保健室・教育相談室の機能を高める。

※学校教育自己診断において、「相談しやすさ満足度」を 70%とする (H28)。 43% (H25)、44% (H24)

イ 保護者への学年メルマガの発信、ホームページを通じて学校情報を積極的に伝える。

## 3 豊かな人間性の涵養

(1) 「総合的な学習の時間」「教科」「LHR」を連携させ、キャリア教育、人権教育、志学を総合的に行うことのできるプログラムを確立する。

ア 「志学」委員会を核にして、3 年間を見通した「交高生育成プログラム」を作成する。その際、地域の教育資源を積極的に活用し、相互にプラスとなる取組みとなるよう努める。 ※各取組みにおける生徒満足度を 85%以上とする (H28)。

(2) 教科・特別活動や生徒会活動を通じて、生徒の自主性、協調性、自己有用感等を醸成するとともに、地域連携を推進する。

ア 部活動・学校行事を活性化させることにより、自主性、協調性、人間関係形成力を育成する。

※部活動入部率 80%とする (H28)。 76% (H25)

※学校教育自己診断において、部活動に対する満足度 90%以上をめざす。行事に対する満足度 90%をめざす (H28)。86% (H25)

イ 部活動、学校行事、教科を通じて、地域の幼稚園・小中学校、支援学校、福祉施設、高齢者施設、地域の自治会、交野市等との連携を強化し、本校の教育資源を地域に広く還元することで地域貢献をする。それにより、生徒の自己有用感を高める。

※各地域連携行事の生徒満足度を 85%以上とする (H28)。

## 【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成 26 年 12 月実施分]	学校協議会からの意見
<p>【教育相談】</p> <p>・生徒相談室を昼と放課後に開室し、朝の挨拶指導などで生徒と接するよう努めたが、「学校の先生には相談しやすい」と回答した生徒が、1 年生では 30%、2・3 年生でも 56%にとどまった。一方、86%の教職員は「教育相談体制が整備され、生徒は相談しやすい」と捉えていた。生徒理解の難しさを痛感するとともに、適切なコミュニケーションの取り方を見出すことが課題である。</p> <p>【学校運営】</p> <p>・今年度は教科毎に授業力の向上に取り組む、95%の教員が「指導方法の工夫改善に努めている」と回答している。ただ、自由記述からは、校務が多忙で、教材研究をする時間が十分にとれない様子が伺える。校務の軽減や効率化による、教材研究の時間及び生徒と向き合う時間の確保が課題である。</p>	<p>第 1 回 (6/23)</p> <p>○教育相談について・・・日頃の生徒の様子・雰囲気をしっかり見つめ、教員から声をかけることで、生徒が相談に来やすくなるのではないかと。</p> <p>○就職先について・・・中小企業にも目を向けるとよい。自分の力で会社を大きくするという目標をもつとよい。交野市内にも、よい中小企業は多い。</p> <p>第 2 回 (10/20)</p> <p>○生徒の様子について・・・生徒の登下校や部活動の様子に、中学生や保護者は着目している。交野生は集会のときも静かに話を聞くので好印象をもたれている。</p> <p>第 3 回 (1/26)</p> <p>○授業改善について・・・高校では専門教科に分かれているので、内容よりも授業手法について意見交換をするとよい。生徒の自主性を育てるために、授業の中にグループ討議なども取り入れるとよい。</p> <p>○生徒指導について・・・相談体制の整備は大切だが、厳しい校則を変える必要はない。</p>

## 府立交野高等学校

## 3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
進路実現につながる確かな学力の育成	<p>(1) コースのさらなる充実・特色化 ア 英語専門コースの充実</p> <p>イ 理数専門コースの充実</p> <p>(2) 「わかる授業」をめざした授業改善及び授業力の向上に取り組む。</p> <p>(3) 学習意欲を喚起するために、様々な学習機会を設定し、その内容の充実を図る。</p>	<p>(1) ア ・オーストラリア、タイ、台湾との国際交流を成功させる。(3回目)</p> <p>・海外からの長期留学生の受け入れを円滑に行う。(新)</p> <p>・関西外大と連携をし、英語 one day キャンプを実施する。(11月)(3回目)</p> <p>・摂南大との連携を強化し、学習内容の充実を図る。(新)</p> <p>・校内レシテーションコンテスト・スピーチコンテストを実施する。(3回目)</p> <p>・英語検定の合格者数の増加をめざす。 英検3級 ・ 1年全員受験 英検準2級 ・ 英語コース生全員受験</p> <p>イ ・地域の中学生対象の模擬授業・実験の実施</p> <p>・地域の小学生対象にサイエンス教室を組織的に実施する。(2回目)</p> <p>・摂南大との連携を強化し、学習内容の充実を図る。(新)</p> <p>・実験実習からICTを活用したプレゼンテーションへと繋がる授業実践を行う。</p> <p>・理系進学実績の向上をめざす。</p> <p>(2) ・「交野21委員会」を中心に、授業見学及び研究授業のあり方を改善し、適宜教員研修を実施する。(新)</p> <p>・相互に授業見学を行い、見学後授業者に助言を作成し、研究協議を行う。</p> <p>・「生徒が主体的に取り組む授業」「ICTを効果的に活用した授業」など学校全体でテーマを定め授業実践する。</p> <p>・1回目授業アンケート実施後は、その分析及び改善策を策定し提出。2回目実施後は、成果検証を行い提出。</p> <p>(3) ・近隣の大学と連携して学習合宿を実施する。</p> <p>・放課後・早朝・長期休暇中の講習をさらに充実させ、センター試験や一般入試にチャレンジする生徒を増やす。</p> <p>・自習室の活用をさらに広げる。(新)</p> <p>・各種検定の受験、各種コンテストの参加を推進する。</p>	<p>(1) ア</p> <p>・生徒の満足度 95% (H25 95%)</p> <p>・生徒の満足度 95% (H25 95%)</p> <p>・生徒の満足度 80%</p> <p>・生徒の満足度調査 80%</p> <p>・英検3級合格率 85% (H25 74%) 英検準2級合格率 50% (H25 45%) 英検2級合格者 10名 (H25 7名)</p> <p>イ ・参加中学生の満足度 90%</p> <p>・参加小学生の満足度 90% (H25 90%)</p> <p>・生徒の満足度 80%</p> <p>・授業満足度 75%</p> <p>・理系進学者の自己目標達成率 75% (H25 73%)</p> <p>(2) ・生徒の授業アンケート調査満足度 70% (H25 67%)</p> <p>・各教員の授業見学2回以上</p> <p>(3) ・参加生徒満足度 85%</p> <p>・チャレンジ受験者 110名以上</p> <p>・チャレンジ進路達成率 70%</p> <p>・受験者、参加者の増加</p>	<p>(1) ア・豪州より8名来校、交野生15名が豪州へ7泊、満足度100%、2年台湾修学旅行、満足度93%(◎)</p> <p>・仏から留学生1名 8/25～H276月</p> <p>・18名参加、満足度100%(◎)</p> <p>・摂南大教授による講演2回、満足度80%(○)</p> <p>・1年で予定していたレシテーションコンテストは2年での実施に変更(△)</p> <p>・英検の結果 3級61%、準2級31%、2級3名(△)</p> <p>イ・学校説明会で実施、満足度96%(◎)</p> <p>・48名参加、満足度小学生100%、実験補助等の生徒100%(◎)</p> <p>・大学で実験体験、満足度90%(◎)</p> <p>・2年物理演習で実施69%(△)</p> <p>・目標達成率70%(○)</p> <p>(2) ・授業満足度は平均71%(○)</p> <p>・教科ごとにテーマを定めて研究授業を実施し、他教科の教員も相互に2回以上授業見学。(○)</p> <p>・授業アンケート後に各自分析及び改善策を提出し、管理職と意見交換。</p> <p>・次年度は教科会議で情報交換を重ね、さらなる授業改善を図る。</p> <p>(3) 7月に学習合宿実施、18名参加、満足度88%(◎)</p> <p>・センター一般入試受験者110名(○)</p> <p>・チャレンジ進路達成率67%(○)</p> <p>・漢検169名、情報51名(○)</p>
個々の生徒への相談支援体制の確立 「規律正しい交高生」の堅持と	<p>(1) 「基本的な生活習慣の定着」及び「規範意識の醸成」「マナーの向上」に努めることで、自らの行動を律することができる生徒を育てる。</p> <p>(2) 保護者との連携を密にし、校内の教育相談体制を充実させ、支援が必要な生徒、課題のある生徒を適切に支援できる体制を確立する。</p>	<p>(1) 生活指導部を中心に、すべての教員が輪番で朝の校門指導を実施する。その際、遅刻・服装・挨拶指導を実施する。</p> <p>(2) ・スクールカウンセラーの訪問日等を生徒・保護者に積極的に周知し活用を推進する。</p> <p>・生徒アンケートを定期的実施し、生徒の実態を把握。</p> <p>・「生徒支援カード」を活用し、必要な生徒に「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」を立案する。保健室と学年とのパイプをさらに強固にし、組織的に支援する。(新)</p> <p>・ピアサポート研修を継続実施し、実際にピアサポータの活用を図る。(新)</p> <p>・保護者との連携を密にするために、学年メルマガを充実させ、生徒の活動を丁寧に伝える。</p> <p>・ホームページのさらなる充実を図る。</p> <p>・学校紹介DVDをリニューアルする。(新)</p>	<p>(1) ・1日の遅刻者数現状を維持 (H25 5.8人/日)</p> <p>・服装・頭髪違反者ゼロを維持</p> <p>(2) ・学校教育自己診断における生徒の「相談しやすさ」 55% (H25 43%)</p> <p>・ピアサポータを活用した取組みの実施</p> <p>・メルマガの定期的な発信</p> <p>・保護者の「相談しやすさ」 85% (H25 82%)</p>	<p>(1) ・遅刻者 6.5名/日(○)</p> <p>・学期毎に頭髪検査を実施、違反者もほとんどなく、落ち着いた学習環境を維持できている</p> <p>(2) ・生徒の「相談しやすさ」48%</p> <p>生徒相談室を整備し、通信を発行して取り組んだが、肯定率は昨年を上回ったものの目標には届かず(△)</p> <p>・次年度は、生徒支援委員会や生徒相談室の機能を高めていく。</p> <p>・メルマガ発信47回、HP更新131回により、学校情報を伝えた。学校紹介DVDを作成(◎)</p> <p>・保護者の「相談しやすさ」82%(○)</p>
豊かな人間性の涵養	<p>(1) 「総合的な学習の時間」「教科」「LHR」を連携させ、キャリア教育・人権教育・志学を総合的に行うプログラムを確立する。</p> <p>(2) 教科・特別活動や生徒会活動を通じて、生徒の自主性、協調性、自己有用感を醸成するとともに、地域連携を推進する。</p>	<p>(1) ・「志」委員会を中心に、「キャリア教育」「人権教育」「志学」に関するこれまでの取組みを整理する。(新)</p> <p>・現状分析と課題把握をし、課題解決策・今後の方向性を策定する。3年間を見通した「交高生育成プログラム」を完成させ全教職員に提示。教員研修を実施する。(新)</p> <p>(2) 地域連携担当および生徒会を核とし、各クラブ・教科・分掌等で、地域の小中学校、福祉施設・高齢者施設および交野市等と連携した活動を充実させる。</p> <p>・近隣小中学校交流(交野カップ、クラブ交流等)</p> <p>・近隣福祉施設・高齢者施設交流(ボランティア)</p> <p>・交野市との連携行事(七夕祭り等)</p>	<p>(1) それぞれの取組みの生徒アンケート調査結果及び学校教育自己診断結果の肯定的回答 85%</p> <p>(2) 参加生徒の満足度 90%</p>	<p>(1) 大学見学、各種講演会(卒業生、企業など)調べ学習・発表会等を内容とする「交高生育成プログラム」を作成。各取組みの肯定的評価90%以上(◎)</p> <p>(2) 吹奏楽部と水泳部が交野マラソンに協力、生徒会とダンス部が交野まつり等や交野キャンパスに参加、ジャグリング部が地域公演7回、茶道部が福祉施設訪問茶会2回等、積極的に地域連携を行い、満足度はほぼ100%(◎)</p>